

福生市議会だより

FUSSA

No.130
発行 福生市議会
平成12年7月25日
〒197-8501 福生市本町5番地
☎ 042(551)1511(代表)

平成12年
第2回定例会



みどりのハーモニー2000



▲美しいハーモニーを奏でる市民音楽祭



—市制施行30周年記念事業—

高齢等対応住宅を十六戸設置

市営住宅条例を改正

本会議の経過

平成十二年第二回定例会は、六月七日から六月二十三日までの十七日間の会期で行われました。
今回の定例会は野澤市長就任後初の議会でもあり、「市長の所信表明について」に続き、十四人の議員からの約二日半にわたる一般質問が行われた後、専決処分の報告や議案、陳情等の審議が行われました。

▼第一日目
「市長の所信表明について」に続き五人の議員の一般質問が行われました。
▼第二日目
前日に引き続き六人の議員の一般質問が行われました。
▼第三日目
三人の議員の一般質問が行われた後、報告五件、議案十九件、陳情四件、「議員派遣について」の審議が

主な内容

可決された案件・討論	2面
一般質問	3～5面
委員会の審査・活動	6面

行われました。
報告五件は、条例の専決処分についての承認を求めたもので、すべて承認されました。
そのうち「福生市老人福祉手当条例の一部を改正する条例」については、反対の討論が行われました。
また、「福生市表彰条例の一部を改正する条例」「福生市表彰条例に基づく自治功労表彰」五件、「福生市表彰条例に基づく一般表彰」については、同日可決及び同意されました。
その他の議案と陳情については、各委員会に付託されました。
また、平成十二年度に議員派遣を行うことを議決しました。

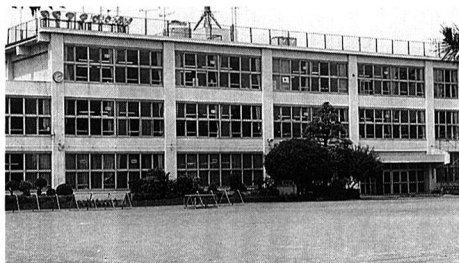
定例会の日程

5月	30日	議会運営委員会
6月	7日	本会議（市長の所信表明について・一般質問）
8日	本会議（一般質問）	
9日	本会議（一般質問・議案審議）	
12日	建設委員会	
14日	厚生委員会	
15日	総務委員会	
21日	議会運営委員会	
23日	本会議（委員会審査報告・議案の審議）	
	全員協議会	
	議会運営委員会	

▼第四日目
各委員会に審査を付託されていた議案の審査報告が行われました。議案はいずれも、原案のとおり可決あるいは同意されました。
この中で「福生市重度心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例」と「福生市心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例」については、委員長報告に対して反対、賛成の討論が行われ、起立採決の結果、報告のとおり可決されました。
また、追加提案された「福生市助役の選任について」「福生市収入役の選任について」「一人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について」は、いずれも原案のとおり同意され、今定例会を終了しました。

可決された案件 (要旨)

- 改正する条例
 - 表彰の基準日を五月一日から五月三十一日に改めるものである。
 - 福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
 - 医療費の助成対象者の範囲を変更するものです。
 - 福生市重度心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例
 - 支給要件に所得及び年齢による制限を加えます。
 - 福生市心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例
 - 支給要件に所得及び年齢による制限を加えます。
 - 福生市都市公園条例の一部を改正する条例
 - 福栄ミレニアムパークを新設します。
 - 福生市営住宅条例の一部を改正する条例
 - 建て替えを進めている第四市営住宅に高齢等対応住宅、二人世帯用八戸、単身者用八戸を設置します。
 - 従来の高齢者住宅に入居できるのは六十五歳以上の高齢者となっていました。五十歳以上の障害者の方々などにも対象範囲を拡大したものです。
 - あわせて、駐車場も設けます。
 - 東京都町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び東京都町村公平委員会共同設置規約の変更について
 - 福生病院組合が加入します。
 - 平成十二年度福生市一般会計補正予算(第一号)
 - 一億二五四万二千円を追加します。
 - 平成十二年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)
 - 二五二六万三千円を追加します。
 - 福生第四小学校建物耐震補強工事請負契約
 - 田村建設工業株式会社と制限付一般競争入札により契約します。初めて予定価格を事前公表しました。
 - 福生第二中学校建物耐震補強工事請負契約
 - 田村建設工業株式会社と制限付一般競争入札により契約します。
 - 中央排水区H-12その1工事請負契約
 - 東急建設株式会社と制限付一般競争入札により契約します。予定価格を事前公表しました。
- 補強工事請負契約
 - 田村建設工業株式会社と制限付一般競争入札により契約します。
 - 福生市収入役の選任について
 - 坂本 昭氏
 - 持田 巽氏
 - 人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について
 - 神谷宜徹氏
 - 大野 聰氏
- 市道線の廃止について
 - 市道一六五号線の一部と市道一九六号線全部廃止
 - 福生市助役の選任について
 - 坂本 昭氏
 - 持田 巽氏
 - 人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について
 - 神谷宜徹氏
 - 大野 聰氏



▲建物耐震補強工事を行う四小

討論

四人の方と第三中学校を表彰

市道線の廃止について

市道一六五号線の一部と市道一九六号線全部廃止

福生市助役の選任について

坂本 昭氏

持田 巽氏

人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について

神谷宜徹氏

大野 聰氏

お年寄りを抱える家庭を直撃するものであり何としても市が肩代わりして支えるべきである。しかし、市は東京都と歩調を合わせて対処した。市は独自の予算措置を講ずるべきではなかったか。そんな点を指摘し反対する。

福生市重度心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例

賛成

真に必要な福祉の後退はあってはならないという基本姿勢に変更はないが、内容の精査、状況の把握は必要である。東京都が財政再建団体への転落を回避し、経常収支比率を平成十五年度までに九〇%以下に引き下げるという目標を達成しなければ、福生市の財政運営にも大きな影響を及ぼす。総合的に福生市として介護・福祉・医療の各観点から総合的な修正を加えていくべきと考える。よって賛成する。

反対

長引く不況の中、お年寄りは一層過酷な状況が展開され、追い打ちをかけるように、東京都は各種福祉手当の廃止、所得制限強化や自己負担導入を行った。

これはお年寄り、その家族にも不安だけを押しつけるものであり、財政再建を理由として約一十億円が削減され、一方ゼネコン開発はそのまま続行する、という都民に負担だけを押しつける都予算が実行された。

この制度廃止は寝たきりの

福生市心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例

賛成

本条例は福生市重度心身障害者福祉手当条例を補完する意味合いをもった市単独の事業である。関連性から言って、整合性を持たせることが求められる。対象者の方々にとって、経済的給付に代わり得る在宅サービス事業等の展開が求められる。サービスを受ける方がより満足できる環境整備を介し、福祉、医療の各分野との連携を確認しながら進める必要がある。

経済的給付事業の給付対象の整合性を保ち、今後の在宅サービス事業等の積極的変換をするという点で賛成する。

反対

不況の中、お年寄りや障害者には一層過酷な状況が展開されている中、東京都は心身障害者福祉手当の所得制限強化を初め、シルバーパスの全面有料化、老人医療費助成と老人福祉手当の廃止、重度障害者、ひとり親家庭、乳幼児の医療費助成や福祉手当の制限強化、自己負担導入など、福祉制度が軒並み削減された予算を執行した。

それに対し、福生市は独自の予算措置を講じようとしていない。自治体の使命は市民の暮らしや福祉を守り負担を軽減し不安を和らげることにある。そうした予算組みのな

「議会日誌」

4日	東京都議会議員会 監事会	16日	総務委員会行政視察 (17日まで)
11日	東京都議会議員会 理事会・臨時総会	17日	三多摩上下水及び道 路建設促進協議会理 事会・総会
12日	三多摩上下水及び道 路建設促進協議会決 算審査	19日	三多摩上下水及び道 路建設促進協議会事 務引継
14日	東京都議会議員会 事務引継	23日	関東市議会議員会新 旧正副会長会議(24 日まで)
17日	議会運営委員会 三多摩上下水及び道 路建設促進協議会正 副会長・委員長会議	25日	例月出納検査 東京都議会議員会 5月定例会議(26日 まで)
21日	全国市議会議員会基 地協議会関東部会役 員会	29日	全国市議会議員会理 事会
26日	関東市議会議員会理 事会	30日	議会運営委員会 全国市議会議員会総 会
27日	関東市議会議員会定 期総会・新支部長会 議(28日まで)		
28日	三多摩地域廃棄物広 域処分組合議会臨時 会・全員協議会 例月出納検査		
▼5月		▼6月	
11日	全国市議会議員会基 地協議会役員会(12 日まで)	27日	全国市議会議員会基 地協議会実行運動 例月出納検査
12日	多摩地域農業共済事 務組合議会臨時会	28日	例月出納検査
15日	西多摩地区議長会定 例会議	29日	西多摩衛生組合臨時 会

声の市議会だよりを
お届けします

目の不自由な方のために、市議会の活動内容を収録した「声の市議会だより・カセット」を発行しています。ご希望の方にお届けしますので、議会事務局までご連絡ください。

5511・15111
(内線512)

一般質問 (要旨)

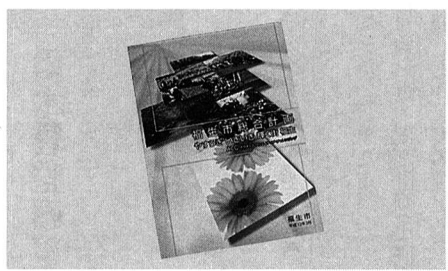
市政のことが聞きたい

今定例会では、十四人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にただしました。三面から五面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が記載できません。詳しくは、会議録を図書館でご覧ください。
なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認しています。

長期的な行財政運営の取り組みを

野口秀世 議員

質問 第二期総合計画のもとの十年間のまちづくりを振り返ってみると、福祉センター建設等の充実した期間であったと思う。しかし時代は大きく変化し、厳しい時代となり、特に財政運営については大変な努力が必要だと思われ、長期的視点にたった行財政運営の取り組み方、決意のほどを伺いたい。



▲やすらぎ いきいき 輝く 福生を

質問 長引く景気低迷の中、商業振興策として西口駅前の整備、銀座通りの整備、プレミアム商品券の補助などいろいろ手を打っていただいたが、効果が上がっていないのが現実で、今後、商店街の活性化のため融資枠の拡大などの自立支援について具体的な方策を伺いたい。



▲横田基地 今後の方向は

質問 石原知事の横田基地返還と官民共用の発言については、周辺五市一町連絡協議会でも各首長の意見の違いがあり、また「民間利用を考える会」でも具体的な案は出ていないのが実情で、市民グループの作成した基地返還と民間活用を考える案も含め、市長の基地返還や共用化に対する考え方を伺いたい。

横田基地返還と官民共用化の考えは

遠藤洋一 議員

市長 基地問題の考え方や対策は基本的に前市長と変わるものではなく、世界の諸情勢から当面基地は動かしたがたいたろうとの認識で、国策上容認しているものである。返還と共用化は重要な問題であり、今後都においてさらに調査を進め、十分なデータが示されるときに周辺地域住民の意向などが尊重される必要があり、当面は慎重に対応してまいりたい。また基地返還が決定されたなら、市民の意見を聞きながら、市民が作成した跡地計画も参考にしていきたい。

横田基地内のダイオキシンは

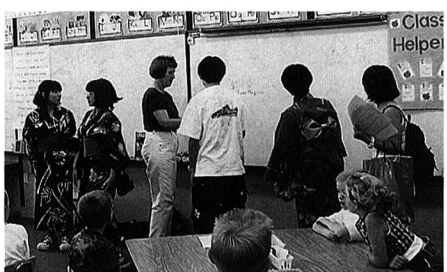
質問 横田基地内のごみ焼却炉でのダイオキシン測定値は十七ナノグラムとのことで、日本の環境基準の七十ナノグラムを下回っているが、実際に把握はできているのか。

市長 横田基地内での残留ダイオキシン等は公表されていない。米軍の施設に対しては大気汚染防止法や廃棄物処理法が適用されないため、実態把握ができない状態であるが、周辺の大気汚染防止に向けては基地内の状況を知ることが必要であり、都と五市一町連絡協議会としては国内法の適用と調査結果の公表について地位協定に明記するよう要望するとともに、引き続き情報収集に努めてまいりたい。

市内中学生の海外派遣事業 今後の取り組みは

清水信作 議員

質問 将来の福生市を担う人材の育成として市内中学生を海外に派遣し、派遣先でのホームステイや、さまざまな外国の文化や歴史を学ぶことは非常に結構だと思うが、今まで派遣された人数、一人当たりの費用を伺いたい。この事業はふるさとづくりまちづくり基金の利子を充てることだが、低金利の中、今後この事業に取り組んでいくのか。



▲日本文化を紹介 -アメリカにて-

教育長 派遣者数は延べ百二十六名となり、総費用は約

延長の約二割を占めており、この拡幅整備も地権者からの買取要望、地元住民からの拡幅要望等により進めているが、実際の用地買収に当たってはさまざまな問題があり遅々と進まないのが実情である。市道一〇六一号線の拡幅整備は早急に進めるべきとの認識はしているが、関係権利者の御理解をいただくにはなお時間を要する状況にある。

学校で安心して活動ができる保険適用を

青海俊伯 議員

質問 平成十四年度から学校完全週五日制が実施され、地域とのかかわりの重要性が問われているが、児童・生徒保護者、教職員が学校行事や部活動、地域活動に参加したときの各行事における保険適用については、どのような対象者どのような保険が適用されているのか伺いたい。



▲備えは万全

また学校内における事故等に対しては福生市学校災害補償規則により見舞金を支給している。その他移動教室の付添い看護婦に対する保険や夏期休業中の水泳指導者や参加者に対する保険があり、いずれも極めて例外的な場合の事故を除きすべて保険が適用されることになっている。

狹隘道路の拡幅整備を

質問 市内の市道は区画整理がされず、昔の農道のままの状態で住宅が建っているとところが数々見られるが、特に原ヶ谷戸の東福保育園の北側に位置する市道一〇六一号線は、非常に狭い。防災の面からも消防車の通行ができるよう付近住民からの要望があるが、狹隘道路の拡幅整備に対する市の対応を伺いたい。

市長 市内の幅員四メートル未満の狹隘道路は、市道総

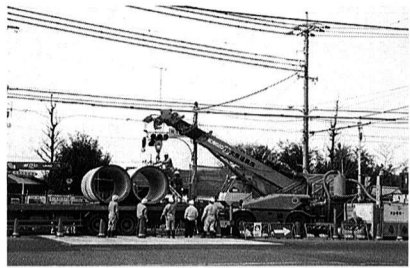
ケアプランの公平性確保の考えは

質問 介護サービス報酬単価は身体介護、家事介護などによって異なるが、会社や団体所属のケアマネジャー（介護支援専門員）が、ケアプラン（居宅サービス計画）を公平に作成したとしても、実際に所属する会社や団体に利する動きをとった場合の対処の考えを伺いたい。

市長 介護保険制度で提供するサービスは人的なサービスが基本であり、お互いの信頼関係が必要であると考えており、そのための連絡調整や指導が市の役割である。また、社会福祉協議会の呼びかけで市内業者の情報交換会が開催されたのを機にサービスの質の向上やネットワークの構築をお願いし、今後は連絡協議会に発展させ、福生市の介護保険制度の質の向上を図りたいと考えている。

雨水管整備事業 今後の見通しは

今林昌茂 議員



▲整備を急ぐ雨水管事業

質問 市内の汚水管は完備しているとのことだが、雨水管の事業はまだ整備されてないようなので、その整備率を伺いたい。また市道一〇五七号線付近の雨水計画事業の見通しと今年度の予定について

市長 雨水管の整備率は約四二％であり、今後緊急性が高い所を優先的に施工していく予定である。今年度の予定は、六カ所施工し、そのうち市道一〇五七号線付近の雨水関連事業として今年度からの二カ年事業で、次回継続事業を含めて十四年度には完了し、その後上流部を整備することにより排水処理が可能となる予定である。今後市内全域を整備することは年数、財政等を考慮すると難しい状況でもあり、地下浸透も考慮して計画の見直しを考えていきたい。

市道一〇五七号線 整備の見通しは

質問 火災等の場合に緊急車両の通行ができない狭い道路や、電柱によって緊急車両が通行できない道路の対応は。また、福生三小北側に位置する市道一〇五七号線は坂道で雨のときは付近住民の方が大変困っており、一刻も早い整備が望まれるが、この見通しについても伺いたい。

市長 緊急車両の通行に支障を来す狭隘道路の拡幅整備を推進し、また電柱により緊急車両が通行できない箇所は、電柱の民有地への移設を設置者に要請していきたい。さらに市道一〇五七号線は雨水管の枝線が未整備であるため、この整備が可能となる十五年以降に拡幅を視野に入れた整備を考えており、それまでの間は補修にて対応していきたい。

人間尊重を 基調とした教育を

高橋章夫 議員

質問 核家族化、情報の氾濫等子供を取り巻く環境は大きく変化し、近年青少年犯罪もマスコミ等で大きく取り上げられる中、小中学生が合同で校外授業等の学校行事を通して触れ合えるような場を取り入れてはどうか。子供は横のつながりだけでなく、縦のつながりの中で人を思いやり、道徳心が芽生えると思うので、人間尊重の精神を基調に家庭、

地域が連携し、また教育委員会を初め学校関係者の健闘を望みたいがどうか。

教育長 現在、小学校では思いやりの心を育てる意図のもと異年齢集団による活動、中学校ではボランティア部の奉仕活動、地域行事への参加を通して地域帰属意識の高揚や他を思いやる心の醸成を目指している。平成十四年度実施の新学習指導要領における「総合的な学習の時間」の取り組みを通じ、関係部署と連携し人間尊重の精神に基づくより適切な指導のあり方の研究を深めていきたい。

拜島駅北口周辺に 交番等の設置を

質問 拜島駅北口は昭和三十年ごろから道路状況も悪い中宅地化が進み、青梅線東側は交番が一方所あるのみの極めて生活上不安な地域である。平成十年に交番等の設置要望書を福生警察署へ提出して二年たつが、早期建設促進要望の状況と今後の進め方を伺いたい。

市長 JR線、西武線の乗降客も多く、放火等犯罪も増加傾向にある地域で、交番等の設置はぜひとも必要と考えている。機会あるたびに地域の実情を説明し、設置要請をしているが、都の財政厳しき折り目下難しいとのことである。市としては交番等設置に必要な用地の調査を進めており、さらに折衝していくとともに、当面は警戒重点地区としてパトカー等で警戒を引き続きお願いしていきたい。

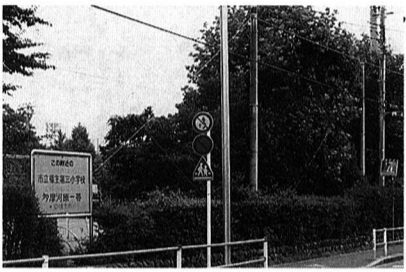


▲元気に練習する子供たち

植栽などの配慮で 児童・生徒の安全確保を

比留間和夫 議員

質問 現在、市内の小中学校敷地はほとんどサツシの柵や金網で囲われ外側から校庭、校舎、体育館等が見え、地域の人々の視線が届き安全性が図られているが、第三小学校は背の高い生け垣を含めコンクリートの万年塀やブロック塀で囲われ、一部分を除き外から中が見えない状態であるが、改修の考えはあるのか。



▲安全を守る対策を

教育長 三小の万年塀等については地震対策上からも改善する必要がある。また正門付近の生け垣は部分的に高く幅もあり、校庭内が見えにくい「緑を守り育てる条例」の

植木や生け垣保存事業との調和をとりながら、学校周囲の防犯対策を講じていきたい。

犯罪の未然防止を 広場・公園の迷惑行為

質問 近年、公共の広場や公園等で深夜まで若者たちのスケボーの音が響き、オートバイを乗り回す騒音で近隣の人々が安眠を妨げられたり、食べ残しの置き捨てなど困ったことが起きている。犯罪も低年齢化し、一人ではできないが、群れると道徳観念が薄れ、このような迷惑行為の中

市長 住民から苦情の連絡が入り市としても苦慮している。福生警察署に相談し当該地域のパトロールを強化し、看板の掲出、町会・自治会等でのチラシの配布、また禁止や禁止の看板設置、バリケードの掲出等注意事項の徹底を図っている。さらに広報等を通じて防犯意識の高揚を図り、家庭、学校、地域が一体となり環境浄化に努めていきたい。

市内業者を 不況から守る対策を

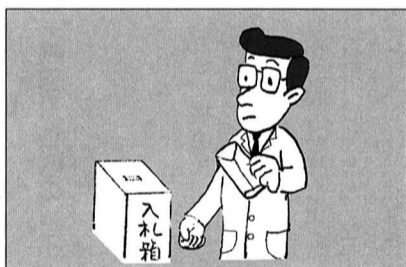
奥富喜一 議員

質問 地域密着型公共事業は雇用の拡大、不況対策に有効であり、市発注の土木工事、修繕工事等はできるだけ細かく分けて発注すると市内業者に仕事提供が可能である。市内建設業者の多くは他県へ下請けで出ているが、市には、市内業者の登録が余りなく、市外業者に発注するケースが多々あると聞く。入札の参加の仕方がわからない、手続が困難等という中で、市は市内業者を不況から守る対策をどのようにし、どのような

市長 入札の公正、透明性、競争性を確保する中で、なるべく市内の業者に受注の機会を与えるべく方策をとっているが、指名を受けるには、競争入札参加資格審査申込書を提出していただかなくてはならない。基本的な考えとして、中小建設業者を活用して円滑効率的な施工が期待できるときは極力分割発注するなど、市内業者に受注の機会を今後も与えていきたい。

スタートした介護保険 現況と減免措置は

質問 ケアマネージャーを対象に行った調査で、利用料などの経済的困難が理由でサービス水準を後退せざるを得なかった人が一五・六％に上った。政府は国民の不安が高まる中、介護保険施行に当たって特別対策を実施したが、限



▲中小業者の活用を進める

定的な内容にとどまっている。スタートした介護保険の当市の現況と、保険料・利用料の減免について伺いたい。

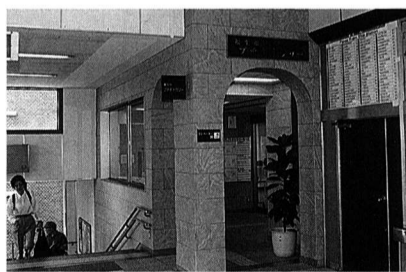
市長 介護認定の申請件数は八百六十八件、要介護等の認定は七百八十件で、内訳は要支援が八十人、要介護一が百八十九人、二が百三十九人、三が百十八人、四が百四十一人、五が百人、自立が十三人である。保険料は所得に依りて、五段階に設定されている。また利用料の自己負担についても、所得に応じて上限額が設けられるなど、低所得者の負担については配慮されている。

積極的な基金の活用 市民の生活を守れ

松山 清 議員

質問 当市の基金は市民一人当たり約十八万円で、二十七年中断トツの一位である。前石川市長のもとで倍増した財政調整基金、都市施設整備基金などを不況の中で暮らす

市長 市民税や補助金等歳入の大幅増が期待できない今日、歳入に見合った適正な予算規模の範囲で事業の必要性、重要性、緊急性を考慮し、歳出予算を編成していくわけであるが、時代の要請にこたえ、真に必要な事業を実施していくために基金の有効活用を図ることも重要である。今後、御理解をいただきつつ適正な管理、運用に努めることを基本に適宜適切な基金の有効活用をさせていただき市民福祉の向上を図っていきたい。



▲改修されたプチギャラリー

田園西土地区画整理 事業の見直しを

質問 今年度と来年度で市は十二億円の財政を投入する計画であるが、現状の田園西地区のために十二億円も投入することに賛成の市民がいるのか。今こそ計画を見直し、むだな財政投入にストップをかけるべきと思うが、どうか。

市長 昨年事業変更をして進めているが、都市基盤整備の大きな目標である街路築造工事とそれに伴う下水道、水

道工事等の四七％が未整備で、一部権利者から早く汚水管、水道管を埋設してほしいとの要望が出ていますが、公道が狭く、道路形態も悪いため非常に困難な状況である。当地区は桜並木の散策道路、サイクリング道路の中間点にも位置し、良好な市街地環境を整える必要がある地区でありながら、最も都市基盤整備がおくれている地域で、今後も良好な市街地環境整備に向け努力し、早期に換地処分ができるよう全力を尽くしたい。

委員会の審査から

今定例会の常任委員会では、付託された議案と陳情及び継続となっていた陳情の審査が六月十二日、十四日、十五日の三日間、建設、厚生、総務の順で行われました。

また、議会運営委員会も、今定例会に関し、六回行われました。

ここでは、各委員会から報告された主な審査概要をまとめました。



▲雨の中市道を視察する委員

建設委員会

六月十二日に開催され、市道路線の廃止場所の現地視察を行い、その後、付託された議案二件、陳情二件を審査しました。

◎福生市都市公園条例の一部を改正する条例

問 ミレニアムパークは東京都の施工で行われるが、完成後の維持管理はどこが行うのか。

答 福生市が財産を引き継ぎ維持管理を行う。

◎市道路線の廃止について

問 消防車の入れない道路は何か所くらいあるのか。

答 市道は約七百路線あるが行き止まり道路は約百路線、四m未満の狭隘道路は約三百路線で全体の二〇%、二十五kmである。なお、地方分権に

厚生委員会

六月十四日に行われた委員会で審査された議案の主な質疑と応答は次のとおりです。それぞれ原案のとおり可決されました。

◎福生市重度心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例

問 所得制限の額と現在の条例の対象者数は。

答 所得制限額は国の特別障害者手当の所得制限に準拠するものであり、平成十二年八月一日より施行予定である。

現在の対象者については、

都と市の制度の該当者を合わせて六十五歳以上が四九四名である。

問 都の所得制限について。

答 扶養がゼロの場合五百八万円、改正により国の特別障害者手当の所得制限の基準にすると扶養ゼロの場合三百四十八万円、扶養一人の場合現行で約五百五十一万円、改正により三百八十六万円になる。

◎福生市心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例

問 所得制限は、重度心身障害者福祉手当と同じ基準か。

また、対象者の内訳は。

答 福生市重度心身障害者福祉手当と同じ所得基準の予定である。また、対象者の内訳は、身障一級三〇名、二級二〇名、三級二〇名、四級二〇名、知的障害者二〇名、三度が四七名、四度が四〇名、脳性麻痺進行性筋萎縮症が三二名。

◎平成十二年度福生市一般会計補正予算(第一号)

問 児童手当第三子、第四子ほどのくらいか。

答 平成十一年度で対象者は四九名である。

問 敬老金の節目支給により浮く予算はどこに生かされるのか。

答 生活支援ショートステイが第一弾である。

問 生活支援ショートステイ事業の受け入れ先とベッド数はどのくらいか。

答 特養ヨコタホームと第二サンシャインピラで、合わ

せて二、六床の予定である。

◎福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

◎平成十二年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)

この外、陳情五件が審査されましたが、継続審査となりました。



▲慎重に付託案件を審査する委員

総務委員会

六月十五日に行われた委員会で審査された議案の主な質疑と応答は次のとおりです。それぞれ原案のとおり可決されました。

◎平成十二年度福生市一般会計補正予算(第一号)

問 起債で、高利のものはどのくらい残っているのか。

答 七%以上は三〇件ほどあり、借入先は郵政省、大蔵省、公営企業金融公庫である。

問 その他高利の起債についても借り換えはできないのか。

答 全国市長会等を通じて高金利の起債について繰上償還を要望しているが、現時点では認められていない。

問 土地売却関係で安価のときに取得したものは残っているのか。

答 土地開発公社で代替用地として売却可能は五カ所、面積は一四五九・四五㎡で現在時価より安く買収したのは三件である。

問 九月議会での補正予算で現時点での内容は。

答 既に約束している福祉関係や、実施計画の中で前倒しや追加するものが出てくればそういったものを積極的に計上させていただきたい。

問 児童手当の対象者を拡大ということだが、何人か。

答 月に一三〇八名を見込んでいます。

◎福生第四小学校建物耐震補強工事請負契約

◎福生第二中学校建物耐震補強工事請負契約

問 今回初めて入札の事前公表を行ったが、九社と申し込みが少ない、どのように考えるか。

答 財務規則で指名競争入札は予定価格に比九千万円以上は一〇社以上となっているので、今後の研究課題とさせていただきます。

問 監理業者は現場に常駐して毎日監理を行っているか。

答 常駐ではなく一般監理という形で打ち合わせを行い、それに基いて、一週間に何回程度見るということを決めていく。

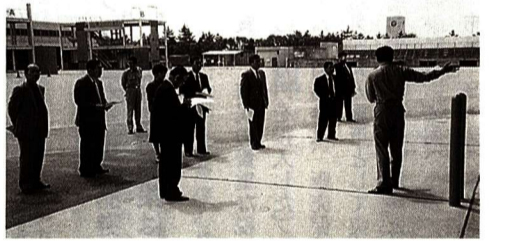
◎中央排水区H-12その1工事請負契約

問 これも監理は常駐ではないのか。

答 常駐ではなく、週二回、月にすると八回、人数としては一人ということに積算している。

◎福生市営住宅条例の一部を改正する条例

この外、陳情三件が審査されましたが、継続審査となりました。



▲神戸市防災センターを視察する委員

議会運営委員会

五月三十日に定例会の会期・日程・議案、陳情等の取り扱いなどを決めるための議会運営委員会が開催されました。会期中には三回の議会運営

委員会が開かれ、追加議案の取り扱いや本会議の日程等を協議しました。

また、定例会終了後に発行する福生市議会だよりの編集をしています。定例会の最終日に議会だよりの割付など協議するための委員会も行いました。

特別委員会活動から

横田基地対策特別委員会

六月二十一日に開催され、次の事項について協議しました。

◎四月の空母キティホーク艦載機の夜間訓練(NLP)結果について

国より、硫黄島における天候等の事情で所要の訓練ができない場合、横田飛行場において四月三日から七日にわたって離着陸訓練を行うとの通告を受け、三月三十日に市長、議長連名で中止要請書に関係

六月二十一日に開催され、次の事項について協議しました。

◎基地友好祭について

本年度八月十二日、十三日の二日間の実施に対し、市長名で曲技飛行等危険飛行を行わないこと、入場者等の安全確保、基地内で販売される食品の衛生管理の徹底等、基地及び国に要請をしたとの報告がありました。

◎平成十三年度横田飛行場周辺対策等要望について

補助事業や基地対策全般について東京防衛施設局への要請行動について協議がされ、閉会いたしました。

議員表彰

全国市議会議長会及び関東市議会議長会では、議員として永年地方自治に功績のあった方々を表彰しています。平成12年度においては、次の方が表彰されました。

議員二十五年以上

松山 清

編集後記

六月定例会が終了しました。

この議会は、野澤市長が誕生して初めての議会であり、また、議会最終日には全議員賛成のもと助役、収入役も選任され、晴れて野澤体制がスタートしたわけであり、野澤新市長の所信表明、そしてこの議会の流れは石川前市長の市政運営を引き継ぐと公約したとおり、また助役を務めていたという関係上、至極淡々としたものであります。間違いのない行政財政の運営をしていただけることを信じております。

この議会中に今年も十二名の中学生がアメリカに派遣される福生市青少年海外派遣事業の説明がありました。十四日間の経験が多感な中学生に与える影響は大変大きなものがあると感じられます。毎年行われる帰国報告会、そして福生市青少年の意見発表大会の場での感想がそれを表しております。異文化に接すること、日本にはない大自に触れられること、感動、感激がでぎづらい世の中、大切な事業とっております。